

名古屋地学会第301回例会報告

松岡敬二

日時：2014年1月11日（土）10：30～15：00

場所：北設楽郡東栄町 参加人数：15名

内容：東栄町下田のとうえい温泉駐車場から、車で愛知県天然記念物（1988年11月11日指定）の「預り淵」へ向かう。到着後、振草溪谷の代表的な景観を見て、星・和氣（2011）で報告された天竜峡花崗岩と設楽層群川角層との不整合、玄武岩の岩脈、ポットホールを観察した（写真1）。「預り淵」と同時に天然記念物に指定された「煮え淵」へ向かった。ここでは天竜峡花崗岩の方状節理、ゼノリス、滝部分のポットホール、天竜峡花崗岩と川角層との不整合を見学した（写真2）。次に、とうえい温泉対岸からの「蔦の淵」を遠望した。昼食はとうえい温泉でとり、各自で「蔦の淵」の滝頭をつくる安山岩の柱状節理を見学した。



写真1 預り淵



写真2 煮え淵

昼食後は、三信鉱工株式会社本社へ向う。着後、三信鉱工（三信マイカ）の会議室で三崎純市（順一）社長から鉱山の歴史、セリサイトの採掘から商品までの過程を説明していただいた（写真3）。三崎社長の案内で、セリサイト・黄鉄鉱が形成された安山岩岩脈の露頭、稼働中の井戸入坑へ入坑し（写真4）、採掘現場を見学させていただいた。また、セリサイト付随鉱物である黄鉄鉱、硫砒鉄鉱を採集させていただいた。下山後に、三信鉱工本社前にある八幡神社の御守（500円）を授かった。その御守りの中には、六面体等の黄鉄鉱が入っており、意思を強くする、危険回避、金運上昇の御利益を期待しつつ解散となった。



写真3 鉱山の説明



写真4 井戸入坑

星 博幸・和氣 康博（2011）愛知県東部，設楽地域東縁部のNW-SE断層系と中新世テクトニクス．愛知教育大学研報（自然科学），60, 57-62.